

が高く、偽陽性が多く出る傾向があると言われている。慎重に検討したい。

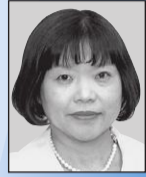
議員 障がい等で対話が難しい子どもの就学時健康診断はどのような配慮がされているのか伺う。

教育長 支援の必要性が事前にわかっていれば、学校が必要な支援をしている。健診当日は医師にもお願いし、子どもの状態に合わせて診察に配慮している。

議員 視力検査について、受け答えが難しい子どもへの対応はどのようにしているか。

「C」のようなランドルト環だけでなく、動物の絵を使う等、子どもが簡単に表現できる方法を取り入れる

医療的ケアが必要な子どもが安心して地域で暮らすために



公明党 大倉 あき子 議員

議員 新生児医療が発達する一方で医療的ケアが必要な子どもが増えている。医療的ケア児は、制度の狭間で支援から取り残されてきたが、安心して地域で暮らすため支援体制の充実が必要と考える。所見を伺う。

市長 医療的ケアという専門性の高いサービス分野では、地域での環境整備が十分には進んでいない。国都



子ども発達支援センター

に現状を示しながら、対応の検討を求めている。今後の支援体制整備のためには、医療的ケア児の現状の把握が重要と考える。退院時の医療機関との連携等の取り組みを伺う。

健康福祉部長 医療的ケア児が病院から在宅に移る際には関係機関による会議が行われ、市職員もサポートチームの一員として参加している。引き続き情報把握と連携の充実を努めたい。

議員 子ども・子育て支援新制度に居宅訪問型保育事業がある。介護する家族のレスパイト(休息)のために本事業を活用できないか。

子ども政策調整担当部長 まずは、4月に開設した子ども発達支援センターのネ

ットワークを活用し、きめ細かく相談に応じながら家族支援の充実を図りたい。

議員 医療的ケアが必要な子どもの保護者が就労を希望する場合に、子どもを預けられる施設がほとんどない。就労できる環境整備が必要と考える。対応を伺う。

子ども政策調整担当部長 保育施設等での受け入れには医療機関との連携等の課題もあるが、利用者支援事業などの相談サービス等も

災害に強いまちづくりで市民の不安を解消せよ



公明党 粕谷 稔 議員

議員 地震や都市型水害への不安が増す中、更なる災害に強いまちづくりを推進すべきだ。都は無電柱化推進に向け、市町村の費用負担軽減の方針を固めた。今後の計画の拡充策を伺う。

市長 地上機器の設置場所等の課題を整理し、今後の展開を検討していきたい。

議員 コンクリート擁壁工事による傾斜地の宅地造成地域では、経年劣化による強度や耐震性への不安が増している。擁壁の保全改修の考えと対応を伺う。

市長 引き続き都と合同で点検調査や巡視などの経過観察を行い、都に協力していきたいと考えている。

議員 食物アレルギーのある児童は増加傾向にある。避難所のアレルギー対応食品は、ニーズや実態に合わせて適切に備蓄すべきだ。

危機管理担当部長 現在は主に乳幼児を対象とした食品を中心に備蓄している。

含め取り組みを進めたい。

議員 今後は、医療的ケア児の保護者に寄り添いながら、様々な分野の情報を集約し包括的にサポートする体制が必要だ。所見を伺う。

市長 今年度から都が新たに実施する医療的ケア児支援関係機関連絡会や、医療的ケア児支援者育成研修などの動向を注視して、活用を図りたいと考えている。

《その他の質問》読書に親しむ環境の整備について

実態に即した調査による実地的な子どもの貧困対策を



民進党 岩見 大二 議員

管理上の課題もある。情報共有について市長部局とも十分連携し、検討していく。

《その他の質問》超高齢社会に向けた施策の拡充について

議員 子どもの貧困が広がっている。放置すれば、社会的損失や就労形態への影響も出る。子どもの貧困対策は、セーフティネットという観点と将来への投資という視点を持つ必要がある。本市における子どもの貧困対策の方向性を伺う。

市長 生まれ育った環境によって将来が左右されることのないよう、貧困の連鎖を防ぎ、生活の基礎を支えて、幅広い福祉と自立支援に向けた取り組みが求められていると認識している。

議員 子どもの貧困対策は多岐に渡り、各部署や関係機関の連携が重要だ。より緊密な情報共有や対策を講じるため、横断的な対策会議等の設置を検討したか。

市長 子どもの貧困に係る独自組織は設置していないが、児童相談所や警察署、医師会等と幅広く連携して支援体制を構築しており、情報共有を図っている。

議員 多くの自治体で、子どもの貧困に対する調査の具体的な予定がない。実態ある事業の周知に努める。

地域防災の課題解消と子どもの安全確保に努めよ



民進党 石原 恒 議員

議員 地域防災計画は、市民や事業者の目に触れる機会が少なく、市民等が内容を理解し、災害時迅速に対応

把握しているのか。

市長 避難所運営マニュアル策定済みの施設が2カ所であるため、まずは運営マニュアルについて施設の特異性を踏まえ整備したい。

議員 福祉避難所においては、特有の備蓄品や人材確保、移送手段、対象者以外が避難した場合の対応等様々な課題がある。課題解消に向けた考え方を伺う。

市長 市民に福祉避難所の役割を理解してもらうことが必要だ。平時より周知、啓発等に努めていく。

議員 学童保育所待機児童解消は、保護者等の協力を得て開設した連雀学園学童保育所のように共同住宅等の賃貸借による開設が有効と考える。所見を伺う。

市長 共同住宅であるか否かにかかわらず、児童の安全確保と心の安定を第一とした慎重な検討が必要だ。

議員 むらさき子どもひろばは、待機児童の放課後の居場所の一つとなっている。隣接する第四小学校から直接来館する「ランドセル来館」を認めてほしい。

子ども政策部長 様々な角度から分析し、継続して検討を行ってみたい。



連雀学園学童保育所

人口増に対応した警察力・消防力の向上を



民進党 高谷 真一朗 議員

議員 日本無線株式会社跡地やその近隣の牟礼六丁目では、マンション建設が進められ、人口増加が見込まれる。防犯の観点から、この地域に新規の交番設置が望ましいと考えるが、都

の政策を鑑みると、困難と予想される。三鷹警察署と対応を協議し、地域警察連営規則第21条に基づき移動交番車等の活用により、住民の安全安心につなげられないか。所見を伺う。